

(問 4) 青森市の人口減少に対する対策について

市内のあちこちで、売り地の看板が多くなった様な気がします。加えて、昨年の人口移動では、本件への転入者は 18,472 人、転出者は 24,528 人 6,056 人の転出超過。青森市は、1,023 人の転出超過で全国で 13 番目に多いと報道がありました。人口減少はそのまま青森市の税収減にもなり、地域滞在型の住宅を建て、移住者を増やす施策をしている等、努力している所も有るということです。青森市では、どの様な対策があるのかお聞かせ下さい。

都市整備部 企画調整課

《回答》

人口減少対策として平成 26 年度からの取組みについて、これまでの人口減少・少子高齢化社会の対応につきましては、まちづくりの施策にあります新総合計画における基本的な方向性の一番目に「人口減少・少子高齢化に適応した持続可能なまち」として、まちづくりのあらゆる分野での取組みとしてきました。

さらに加えて、平成 26 年度の予算編成に伴い一人っ子調査及び研究結果を基に青森市における人口減少対策の基本的な方向性をまとめています。HP 掲載資料にて「青森市の人口減少対策の基本的な方向性について」説明しておりますのでご確認ください。

青森市内の各地域の特性がそれぞれある中で地域が直面している人口減少、少子高齢化の予想がそれぞれの地域によって異なっている点にも着目して青森市のマクロな視点のみならず地域別としてミクロな視点に立ったものとなることを考えています。これらのことから本市における人口減少対策の基本的な方向性を「1.少子化対策の推進」「2.高齢化対策の推進」「3.人口減少社会に対応した社会システムの構築」と決めました。平成 26 年度予算編成にあたり、人口減少に対する更なる取組みを進めていくため、人口減少対策のうち少子化対策の推進に着目して若年層の市外流出抑制へ辞する事業として一般財源の特別枠を補正しています。

平成 26 年度の予算編成における人口減少対策枠につきましては、今回試行的に創設したもので、次年度以降の取扱いについては提案状況あるいは実際に事業を実施した際の状況等々を見極めながら検討する事となりますが、本市の人口減少対策については引き続き道理的取組みを進めていきます。

資料：青森市 HP (URL : <http://www.city.aomori.aomori.jp/view.rbz?cd=17144>)